



今月の行事予定		
日	曜日	内容
4	月	保育始め
6	水	交通安全教室 (2歳児以上)
7	木	子育てサロン
12	火	ピヨピヨひろば
15	金	もちつき
21	木	カレーの日
28	木	誕生会
29	金	避難訓練

あけましておめでとう
いよいよです。
青空の穏やかなお正月でした。
一年の計は元日にあり、
今年が元旦のような一年になりますように！
暖かな陽光に誘われて
シヨギングに出かけました。
公園の花壇では、もうチューリップの芽が
顔をのぞかせていました。
いつもなら、春が近いと喜びどころですが
地球の温暖化??が頭をかすめ
子ども達の未来が心配になりました。
行き交う人々の中から
「理事長先生!」「園長先生!」と、
声を掛けてくれる小中学生、幼稚園の子ども達
この子達のために、環境を守り
今年が未来のためになる年になることを
願いながら走りまわりました。



今年も、子ども達一人一人との関わり
を大切にしながら、沢山の遊びを考えて
いこうと思います。どうぞ宜しくお願い
致します。



●今月の予定の中から●

●交通安全教室(6日)

・今月は教職員の方々の楽しい劇を見学
しながら交通安全を学びます。子ども達
は、大人の姿を見て模倣します。大人は
子ども達のお手本になりたいですね。

●もちつき(15日)

・今年もせいろでもち米をふかし、本物
の臼と杵を使って「おもちつき」を行
います。子ども達は、先月から段ボールの
臼と杵を使いもちつきごっこを楽しんで
いました。もちつきに向けて、前日にぞ
うグループがもち米を洗います。当日は、

1・2歳児はランチルームでミニ臼とミ
ニ杵を使いもちつきに挑戦し、蒸した
もち米を食べます。(昼食はうどんを食べ
ます。)3歳以上の子も達は大きな臼と
杵でおもちつきを行い、雑煮ときな粉餅
を食べます。

●カレーの日(21日)

・みんなの力を合わせて作るカレーは最
高に美味しいですね!それぞれの学年が
自分たちの役割を果たし、当日を迎えま
す。今月のカレーの味が楽しみです!

●誕生会(28日)

・今年初めての誕生会は、先生達による
合唱です。2月の発表会に向けて子ども
達へのいい刺激となりますように!

●避難訓練(29日)

・今回の避難訓練は午後の時間に行いま
す。保護者の方も、その場に居合わせた
際は職員の指示に従い避難をお願いします。

★お願い★お知らせ

★登園は9時までにご利用致します。

お仕事のご都合等もあるかとは思いますが、お子さんの生活リズムを整えるためにもご協力をお願い致します。また、欠席・遅刻の場合も9時までにご連絡下さい。

★子ども達の生活リズム(早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち)を整えましょう!

大人中心の生活ではなく、あくまでも子ども中心で。お願いします。

★土曜保育をご利用の方へのお願い

・土曜保育ご利用のお子さんは、平日にお休み出来るようにお願いします。子ども達の心の安定は、お家の方にしか作ることが出来ません。今、この時を大切にしたいと願います。

★発表会・2月13日(土)

9時50分〜11時30分(予定)

◆今年も、当日の出演は2歳児以上とさせて頂きます。(土曜保育は行いません。)

☆保育参観&給食試食会

- 2/22(月)にじ・たいよう&そら(きりんグループ)
- 2/23(火)ひかり・たいよう&そら(ぞうグループ)
- 2/24(水)ほし・だいち

*2月の行事の詳細は後日お知らせ致します。

「しつけ」

園で一所懸命「しつけ」しているのに、家庭では園と一緒にやってももらえないという話を聞きます。園で決めたことだから、と一方的に押し付けるつもりはありません。「しつけ」は「家庭で決めることだから自由だ」と言えばその通りです。しかし、「しつけ」はしないというのでは困ります。「躰」は文字通り、美しい身のこなしを体得していくことであり、しつけ糸のように良い折り目、良い習慣をつけて、子どもが社会に出てスムーズに生

活し、困らないようにするためです。▼

最近、三歳で入園して来る子の中には、良い家庭で育ったのだな、と感心する子がたくさんいます。昼食の時に、全員の配膳が終わるまできちんと姿勢を正して待つ、「いただきます」ができます。驚くのは、三歳でも箸を上手に使いこなし、こぼさず綺麗においしそうに食べる事ができます。勿論、待てずに暴れる子ども、手でわしづかみにして食べ散らかし、悪戦苦闘している子が、まだまだいます。

▼三歳でもオムツをしたまま入園してくる子が増えています。紙オムツの普及で、止むを得ないこともあるでしょう。入園までにはトイレット・トレーニングをして来て欲しいのですが、間に合わなかったら入園後、園と一緒にトレーニングをして欲しいと思います。園ではオムツを取ってトレーニングしているのに、家に帰るとオムツを付けてしまうのでは先に進みません。「家ではできないので、園で直して下さい」と、子どもの好き嫌いを直すことさえ、園に放り投げる親もいます。「この親にしてこの子あり」というが、子の「しつけ」は良くも悪くも親次第ということでしょうか。▼しかし、園では「しつけ」は家庭の問題と突き放すつもりはありません。園の中ではあいさつ、靴を揃える、順番を守る、食事のマナー等を徹底しています。せめて子ども達が社会に出て恥をかかないように、子ども達のためにご家庭でも、一緒に「しつけ」をして欲しいと願っています。園は集団教育施設です。一人一人の子ども達が、しっかりと社会のルールを学び、社会性、人と関わる力を付けていけるようにしたいと思えます。

理事長 浅田 精利

